

地域社会との繋がり

大塚化学は、各事業所において地域に根ざした取り組みを行うことで貢献するとともに、皆さまとのコミュニケーションを通じ、当社の事業活動についてのご理解、信頼をいただけるよう努めています。



栽培センターでの説明

大学薬学部早期体験学習の受け入れ

地元の大学薬学部の早期体験学習を受け入れています。当社の概要説明、現場見学などで講義の一環として勉強されています。講義においては大学で学習されたことに繋がりをもたせて説明を行っています。

医薬品原薬工場での説明



テニス指導（ボランティア）

徳島事業所内にあるテニスコートでは、社員による地元の方とのコミュニケーションの一環として施設を提供し、一緒に練習を行っています。スポーツを通じてリフレッシュさらには健康増進が図れると感謝の言葉もいただいております。



社員によるテニスレッスン指導の様子

社員によるアーチェリー指導の様子



アーチェリー指導（ボランティア）

徳島事業所内にあるアーチェリー場では、社員による県内のアーチェリー愛好者へのボランティア指導を行っています。県内には長距離を射る場所が少ない為、高校生、身体障害者の方々に感謝されています。ここで練習された方が昨年の全国身体障害者スポーツ大会に出場し、見事金メダルを獲得しました。



新聞記事に掲載された練習生

清掃ボランティア活動

各事業所において地域の清掃ボランティアに参加し、社会貢献活動に取り組んでいます。

●ごみゼロ運動（徳島事業所）
地域貢献活動の一環として「徳島環境県民会議」が呼びかけている、「ごみゼロの日」キャンペーンに徳島事業所周辺及び国道11号線周辺のごみ拾いを実施することで参加致しました。



「ごみゼロの日」キャンペーン（徳島事業所周辺及び国道11号線周辺）

公共用水路清掃活動（清掃前▼・後▶）



●公共用水路清掃活動（鳴門事業所）
鳴門事業所では、周辺の公共用水路に雑草や泥が溜まらないように毎年1回、グループ会社と交代で清掃活動を行っています。

●海をきれいにする運動（松茂事業所）

松茂工業団地企業協議会により毎年開催される「海をきれいにする運動」に参加しています。今年は新設された月見ヶ丘海浜公園のごみ拾いに参加協力しました。



海をきれいにする運動（月見ヶ丘海浜公園）

阿波踊りへの参加

大塚化学は、毎年盛夏の一大イベントとして開催される阿波踊りに参加しています。大塚食品（株）や大塚倉庫（株）の社員と共に編成している「大塚はつらつ連」の精錬された踊りは観客の皆様からもご好評を頂いております。当地のみならず顧客企業のイベントや海外でも披露することがあり、徳島の文化活動として楽しく取り組んでいます。

演舞場に踊り込む「大塚はつらつ連」



徳島事業所



- 所在地 徳島県徳島市川内町加賀須野463
- 創業開始 1969年(昭和44年)
- 従業員数 375名(2007年3月現在)
- 事業内容 医薬品原料、化学品の製造及び研究開発

エネルギー使用量

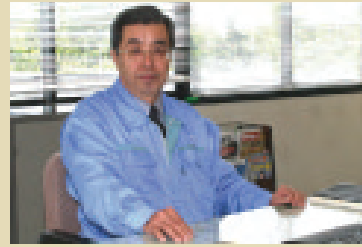
| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|
| 電力(千kWh) | 52,186 | 48,973 | 46,826 |
| 重油(kℓ)※ | 32,676 | 29,713 | 25,639 |
| LPG(t) | 1,508 | 1,570 | 1,589 |
| 都市ガス(千Nm ³) | — | — | 1,775 |

※重油と都市ガスは、大塚グループ各事業所への電気・蒸気製造のための使用を含みます。

環境負荷データ(2007年3月測定値)

| 項目 | 単位 | 規制値 | | | 測定値 | 測定頻度 | 測定箇所 |
|------|----------------|--------------------|---------|------------|--------|-------|------------------|
| | | 法規制 | 条例※ | 公害防止協定 | | | |
| 大気汚染 | NOx | ppm | 150 | — | — | 98 | 連続 ボイラー1・2・4号 |
| | // | ppm | 250 | — | — | 130 | 毎年2回 焼却炉 |
| | // | ppm | 950 | — | — | 293 | 連続 ディーゼル機関2基 |
| | SOx | m ³ N/h | — | — | 39 | 7.01 | 連続 工場全体 |
| | ばいじん | g/m ³ N | 0.15 | — | — | 0.005 | 毎年2回 焼却炉 |
| 水質汚濁 | COD | mg/ℓ | — | — | 40(30) | 8.5 | 連続 最終放流水 |
| | BOD | mg/ℓ | — | 78.4(62.5) | — | 12.3 | 毎週3回 |
| | SS | mg/ℓ | — | 77.5(61.6) | — | 3.7 | 毎日 |
| | pH | | 5.8~8.6 | — | — | 6.94 | 連続 |
| | T-N | mg/ℓ | 120(60) | — | — | 6.4 | 連続 |
| | T-P | mg/ℓ | 16(8) | — | — | 0.23 | 毎月2回 |
| 騒音 | 朝(5:00~7:00) | dB | — | — | <60 | 51 | 毎月1回 敷地境界線 |
| | 昼間(7:00~19:00) | dB | — | — | <65 | 56 | 毎月1回 |
| | 夕(19:00~22:00) | dB | — | — | <60 | 54 | 毎月1回 |
| | 夜間(22:00~5:00) | dB | — | — | <55 | 52 | 毎月1回 |

※徳島県生活環境保全条例
()内は、日間平均



徳島工場長
今村 義昭

徳島事業所で製造する製品は、医薬品原料、プレーキパッドやOA・モバイル機器等に使用される機能性材料、ヒドラジン化合物、食品添加物の香料など多岐に渡り、新規研究開発も行なっています。大塚製薬(株)、大塚薬品工業(株)他、今切工業団地各グループ事業所への電気・蒸気・水道水の供給も行っています。環境への取り組みは、設置当初の1974年(昭和49年)から徳島県並びに徳島市と公害防止協定を締結し、環境管理活動を行なってきました。1999年にはISO14001を認証取得し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図っています。トピックスにも掲載していますが、今年度は四国初天然ガスによるガスタービンコージェネレーションシステムを導入し、重油燃料に比べてばい煙及び二酸化炭素の排出量を大幅に削減できる見込みとなっています。また徳島事業所は敷地を大塚食品(株)と一部共有しており、毎年たくさんのお見学者を迎えています。

廃棄物

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 発生量(t) | 10,269 | 9,785 | 12,641 |
| 排出量(t) | 2,861 | 2,585 | 3,304 |
| 中間処理量(t) | 1,564 | 1,548 | 2,247 |
| 再資源化量(t) | 651 | 523 | 574 |
| 最終処分量(t) | 646 | 514 | 483 |

鳴門事業所



- 所在地 徳島県鳴門市里浦町里浦字花面615
- 創業開始 1950年(昭和25年)
- 従業員数 137名(2007年3月現在)
- 事業内容 無機・有機化学品、肥料、農薬の製造及び農薬の研究開発

エネルギー使用量

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 電力(千kWh) | 5,730 | 5,559 | 4,688 |

環境負荷データ(2007年3月測定値)

| 項目 | 単位 | 規制値 | | | 測定値 | 測定頻度 | 測定箇所 |
|------|----------------|------|---------|---------|--------|-------|---------------|
| | | 法規制 | 条例※ | 公害防止協定 | | | |
| 水質汚濁 | COD | mg/ℓ | — | — | 40(30) | 4.7 | 連続 最終放流水 |
| | BOD | mg/ℓ | — | 82(101) | — | 9.1 | 毎月1回 |
| | SS | mg/ℓ | — | 84(66) | — | 4.8 | 毎日 |
| | pH | | 5.8~8.6 | — | — | 6.8 | 連続 |
| | T-N | mg/ℓ | 120(60) | — | — | 2.59 | 連続 |
| | T-P | mg/ℓ | 16(8) | — | — | 0.108 | 連続 |
| 騒音 | 朝(5:00~7:00) | dB | — | — | <60 | 56.5 | 毎月1回 敷地境界線 |
| | 昼間(7:00~19:00) | dB | — | — | <65 | 58.2 | 毎月1回 |
| | 夕(19:00~22:00) | dB | — | — | <60 | 55.6 | 毎月1回 |
| | 夜間(22:00~5:00) | dB | — | — | <55 | 54.2 | 毎月1回 |

※徳島県生活環境保全条例
()内は、日間平均



鳴門工場長
高尾 久

鳴門事業所は、硝酸カリ、塩化カリ等の無機化学品、医薬原料・硬化剤原料等の有機化学品、肥料、農薬の製造及び農薬関連の研究開発を行っています。環境への取り組みとして1976年(昭和51年)から徳島県並びに鳴門市と公害防止協定を締結、2005年9月8日にはISO14001の認証を取得し、地球環境・地域社会への影響を常に配慮した管理活動を推進しています。また、地域学校より勤労体験学習として学生を迎え入れ、勤労の大切さ、ものづくりの難しさ、責任のあり方を体得して頂き実社会に対応できる人材の育成に協力しています。

廃棄物

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 発生量(t) | 1,698 | 2,025 | 1,668 |
| 排出量(t) | 918 | 746 | 857 |
| 中間処理量(t) | 776 | 623 | 754 |
| 再資源化量(t) | 74 | 104 | 80 |
| 最終処分量(t) | 69 | 19 | 23 |

松茂事業所



- 所在地 徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-40
- 創業開始 2000年(平成12年)
- 従業員数 48名(2007年3月現在)
- 事業内容 医薬品中間体、プラスチック成形材料製造

エネルギー使用量

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 電力(千kWh) | 8,916 | 8,153 | 7,319 |
| 重油(kℓ) | 1,520 | 1,002 | 875 |
| LPG(t) | 121 | 77 | 79 |

環境負荷データ(2007年3月測定値)

| 項目 | 単位 | 規制値 | | | 測定値 | 測定頻度 | 測定箇所 |
|------|----------------|-------|---------|--------|---------|--------|-------|
| | | 法規制 | 条例※ | 公害防止協定 | | | |
| 大気汚染 | NOx | ppm | 250 | — | — | 69 | 焼却炉 |
| | SOx | m³N/h | 5.06 | — | — | 0.0115 | |
| | ばいじん | g/m³N | 0.15 | — | — | 0.01 | |
| 水質汚濁 | COD | mg/ℓ | — | — | 20 | 3.2 | 最終放流水 |
| | BOD | mg/ℓ | — | — | 20 | 0.9 | |
| | SS | mg/ℓ | — | — | 20 | 0.7 | |
| | pH | | — | — | 6.0~8.5 | 7.3 | |
| | T-N | mg/ℓ | 120(60) | — | — | 2.1 | |
| | T-P | mg/ℓ | 16(8) | — | — | <0.10 | |
| 騒音 | 朝(5:00~7:00) | dB | — | — | <65 | 53.2 | 敷地境界線 |
| | 昼間(7:00~19:00) | dB | — | — | <70 | 54.2 | |
| | 夕(19:00~22:00) | dB | — | — | <65 | 51.9 | |
| | 夜間(22:00~5:00) | dB | — | — | <60 | 51.3 | |

※徳島県生活環境保全条例
()内は、日間平均



松茂工場長
田淵 明

松茂事業所では、医薬品中間体及びプラスチック成形材料の製造を行っています。
2000年創業開始時より松茂町と公害防止協定を締結し環境管理活動を行ってまいりました。設計段階において環境に優しい工場を目指し、ダイオキシンを発生させにくい液中燃焼炉、熱効率の良い蓄熱式燃焼脱臭装置、排水量の少ない冷却装置等の設備を積極的に導入しています。廃棄物についても廃パレット、廃包材、廃蛍光灯のリサイクル化、除草後の草の肥料としての再利用等、排出量の削減に努めています。2007年5月には月見ヶ丘海浜公園もオープンすることもあり、毎年参加している清掃活動の「海をきれいにする運動」にも力が入っています。
今後、より一層地域との融合、環境への配慮を推進していきます。

廃棄物

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 発生量(t) | 4,835 | 3,904 | 4,593 |
| 排出量(t) | 339 | 306 | 291 |
| 中間処理量(t) | 37 | 44 | 91 |
| 再資源化量(t) | 0 | 21 | 29 |
| 最終処分量(t) | 302 | 241 | 171 |



環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」との対照表

| ガイドライン項目 | 該当ページ |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. 基本的項目 | |
| 1 経営責任者の緒言 | P 1 |
| 2 報告に当たっての基本的要件 | 巻頭(環境社会レポートの基本的要件) |
| 3 事業の概要 | P 2~7 |
| 2. 事業活動における環境配慮の方針・目標・実績等の総括 | |
| 4 事業活動における環境配慮の方針 | P 2 |
| 5 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括 | P 9 |
| 6 事業活動のマテリアルバランス | P 10~11 |
| 7 環境会計情報の総括 | — |
| 3. 環境マネジメントに関する状況 | |
| 8 環境マネジメントシステムの状況 | P 8, 12~16 |
| 9 環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況 | P 17, 25 |
| 10 環境に配慮した新技術等の研究開発の状況 | P 20 |
| 11 環境情報開示、環境コミュニケーションの状況 | P 8, 28~29 |
| 12 環境に関する規制遵守の状況 | P 14, 30~32 |
| 13 環境に関する社会貢献活動の状況 | P 28~29 |
| 4. 事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況 | |
| 14 総エネルギー投入量及びその低減対策 | P 8, 10~11, 18~19 |
| 15 総物質投入量及びその低減対策 | P 10~11, 21 |
| 16 水資源投入量及びその低減対策 | P 10~11, 18 |
| 17 温室効果ガス等の大気への排出及びその低減対策 | P 8, 10~11, 18~19 |
| 18 化学物質排出量・移動量及びその低減対策 | P 22~23 |
| 19 総製品生産量又は販売量 | P 10~11 |
| 20 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策 | P 10~11, 24 |
| 21 総排水量及びその低減対策 | P 10~11, 18 |
| 22 輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策 | P 25 |
| 23 グリーン購入の状況及びその推進方策 | P 25 |
| 24 環境負荷の低減に資する商品、サービスの状況 | P 20 |
| 5. 社会的取組の状況 | |
| 25 社会的取組の状況 | P 26~29 |

